

## 式 辞

(令和2年度 神奈川県立 瀬谷西高等学校 第41回卒業式)

ただいま、**338**名の皆さんに卒業証書をお渡ししました。まずは、卒業生の皆さんに心からお祝いを申し上げたいと思います。「皆さん、ご卒業おめでとうございます」

そして、お子さんをこれまで育ててこられた保護者の皆様、本日は誠にありがとうございます。さまざまな困難を乗り越えて、立派に成長された姿を皆様とともに喜びたいと思います。コロナ禍での卒業式ということで、残念ながら来賓の臨席をお断りいたしました。保護者の方々に出席いただけるようになり、大変うれしく思っております。

さて、卒業生の皆さんが歩いていく社会は、現在、グローバリズムや人工知能をはじめとする科学技術の進展のもとに、人類が今までに経験したことがない大きな変革が進んでいます。オックスフォード大学のマイケル・オズボーン教授は、2013年の論文「雇用の未来」で今後10～20年のうちに、現在あるアメリカの職業の47%はA Iなどにより自動化されると予測しました。自動化される職業として、例えばスーパーのレジやホテルの受付、運転手などが挙げられました。セルフレジや自動運転など自分たちの身の回りでも見たり聞いたりすることが増えてきたと思います。

またニューヨーク市立大学のキャシー・デビッドソン教授は、2011年にニューヨークタイムズのインタビューでアメリカ人の65パーセントは、2027年には、現在ない職業に就職するだろう」と答えています。これらの意見に、世界中で衝撃が走りました。今からあと6年しかありませんね。もちろんその通りになるかは、わかりません。でも急激な変化をしている世界に対応できるようになることは必要ですね。以前始業式で「自分の頭で考え、自分の考えを、自分の言葉で説明する力」を身につけてほしいとお話ししました。変化が激しい社会では、今までの価値観にとらわれているだけでは、行き詰ってしまいます。人生の岐路に立つときに、家族や先輩、友人の助言を受けることは必要ですが、最後は自分自身の考えを信じて決断してほしいと思います。マイケル・オズボーン教授によると、今後求められる人

は、「変化を楽しめる人」だということです。

卒業生の皆さんは、コロナ禍で迎えた今年度の檜祭で、各クラス、見事なオンラインを中心とした動画作品を発表しました。またグラウンドで対面式の部活発表を行ったり、オンライン配信のライブを行ったり、従来型の文化祭とは違う新しい文化祭を創造してくれました。他の学校に誇れる瀬谷西の生徒の成長を見ることができました。まさに皆さんは「変化を楽しめる人」だと我々に示してくれたと思います。

本校は2年後の令和5年（2023年）3月に完校し、瀬谷高校と再編統合し、新たな学校としてスタートします。それ以降は、必要書類等は新校に取りに行くことになります。瀬谷西高校は、1978年に南区の弘明寺に県立商工高校の旧校舎を仮校舎としてスタートしました。入学試験は瀬谷高校で行われました。そして1980年にこの中屋敷の地に本校舎が完成して移転してきました。校舎を建てる以前よりあった自然林を初代校長が「思索の森」として名づけ、現在に至ります。本校の歴史を見てきた森が、今後も瀬谷西の卒業生を見守り続けてくれることを願います。

改めまして、保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。生徒ひとり一人が、檜のごとく立派に成長されたことを我々職員一同、心からお祝いいたします。

思索の森清掃をはじめとする学校行事など、保護者の皆様方のご協力ご支援に、この場をお借りして改めて感謝申し上げます。最後に生徒の皆さん卒業おめでとうございます、そして、元気に瀬谷西を飛び立ってください。

令和3年3月1日 神奈川県立 瀬谷西高等学校

校長 小林 幸宏